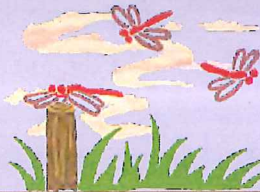


通信文化 2018年9月号



公益財団法人
通信文化協会
9/5 発行

幕臣たちの文明開化

明治一五〇年記念講演
東京大学名誉教授 石井寛治

文明開化は日本の産業革命という形で急速に具体化した。そしてそれは誰がやったかという旧幕臣たちの実務官僚であった。

巻頭言

学習院女子大学 名誉教授 江口泰広
イメージは事実より重い

政治の潮流

自民党総裁選の見どころは

暖流・寒流

郵便局改革へ五原則を

ダイバーシティ通信

郵便営業に女性社員の視点を活かす
(日本郵便北海道支社・札幌中央郵便局)

歴史散歩

歴史家 加来耕三
比叡山再建を志した名僧 明庵栄西
輝かしい伝統を持つ比叡山延暦寺。衰退する中であって再建した名僧の話。

日本人ここにあり

作家 出久根達郎
戦艦大和の生存者 吉田満

切手歳時記

かぐや姫は十二単を着たか
竹取物語に登場するかぐや姫は、飛鳥時代から奈良時代の人物と想定されるが、切手のデザインのように十二単を身にまとっていたかどうか。



論より紹興酒

落語家 立川談四楼
暑気払い

直球曲球

相撲の決まり手の変遷

ドクターに聞く 病気と健康

帯状疱疹 東京通信病院副院長兼皮膚科部長 江藤隆史
子供のころ感染した水痘のウイルスが体内に潜伏し、高齢になってから発症する。

誰かに教えたくなる

科学技術の話
貴方のすべてが把握されている監視社会

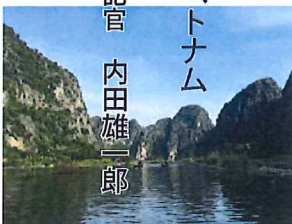
わが街わが故郷

鹿兒島県始良市
加治木町は、錦江湾に臨む風光明媚な街。関ヶ原の戦いで中央突破の退却を敢行したことで名高い武將島津義弘が残したといわれる文化が香る。



世界の国から

今一番「アツい国」ベトナム
在ベトナム 日本国大使館一等書記官 内田雄二郎



地域おこし

徳島県那賀町の取り組み
住む人来る人に 魅力いっぱい町の

簡易郵便局を訪ねて

山形県天童市 長岡簡易郵便局

読者プレゼント
抽選で30名様に



樹上で完熟させた、甘くほのかな酸味のある有田みかん。

【編集】
〒113-8139 東京都文京区湯島 45-16
公益財団法人通信文化協会 編集担当